

2025年12月10日
株式会社TRUSTDOCK

デジタルIDウォレット「TRUSTDOCKアプリ」 累計200万ダウンロードを突破

— デジタル社会のインフラとして、安心・安全な身元証明を実現 —

株式会社TRUSTDOCK (東京都中央区、代表取締役：千葉 孝浩) が開発・提供するデジタルIDウォレット「TRUSTDOCKアプリ」が、2025年10月20日 (月)、累計200万ダウンロードを突破しました。

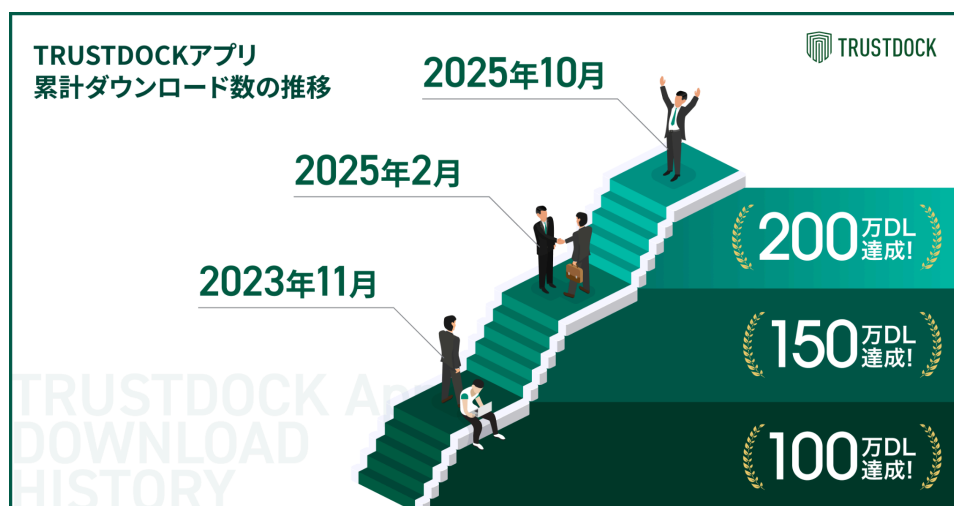


「TRUSTDOCKアプリ」とは

デジタルIDウォレット「TRUSTDOCKアプリ」は、氏名や住所、生年月日などの個人の基本情報や属性情報を、スマートフォンに格納して安全に管理し、必要な時に提示できるアプリです。

本アプリでマイナンバーカードによる公的個人認証を行い、認証アカウントを登録すると、本アプリを通じて本人確認を行った履歴が閲覧できます。さらに本アプリと連携したサービスでは、ID連携を行うことで、身分証を使わずにアプリのみで身元証明が可能です。

eKYC（オンライン本人確認）のツールとしては40サービス以上でご利用いただいております。近年では大阪・関西万博の入場券チケットIDの電子申請システム（※1）や、オプテージ社が提供する通話アプリ「LaLa Call」（※2）でも利用されるなど、幅広い領域でスムーズな本人確認をサポートしています。



※1：TRUSTDOCK、2025年大阪・関西万博の入場券チケットIDの電子申請システムに「TRUSTDOCK 本人確認・法人確認 for Salesforce」を提供 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000309.000033766.html>

※2：関西電力グループのオペレーティングが提供する050通話アプリ「LaLa Call」が、eKYC本人確認サービス「TRUSTDOCK」を導入 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000293.000033766.html>

200万ダウンロード突破の背景

2019年7月のリリース以来、TRUSTDOCKアプリは個人情報のダッシュボードとして機能するほか、幅広いサービスのeKYCツールとして利用されてきました。

本アプリではマイナンバーカード搭載の電子証明書を読み取り、オンライン上で利用者本人の確認や認証を行う公的個人認証によってeKYCを行うため、セキュリティ強度と利便性の高い本人確認が可能です。マイナンバーカードの利活用促進や、自治体手続きDX化の機運を受け、本アプリを活用いただく機会も増加していきました。

TRUSTDOCKアプリを介した本人確認のユースケース

※2025年10月時点

官民間問わず、さまざまな活用が可能

- 自治体手続き
- 通信契約
- クラウドファンディング申込
- 金融取引
- toCサービスID登録
- toBサービスID登録
- 古物取引
- スポットワーカー登録
- 融資契約、ファクタリング
- クレジットカード契約
- 保険契約
- 公営ギャンブル取引 など



自治体手続きだけではなく、金融取引やtoB、toCサービスのアカウント登録など、現在では官民間問わずさまざまな用途で本アプリが活用されています。こうした幅広い活用が可能な柔軟性やアプリ強度への信頼をいただき、おかげさまで累計200万ダウンロードを突破いたしました。

デジタル上の取引や契約を安全かつ迅速に行うために、セキュアな本人確認は欠かせません。デジタル社会を支えるインフラとして、今後もTRUSTDOCKアプリは貢献してまいります。

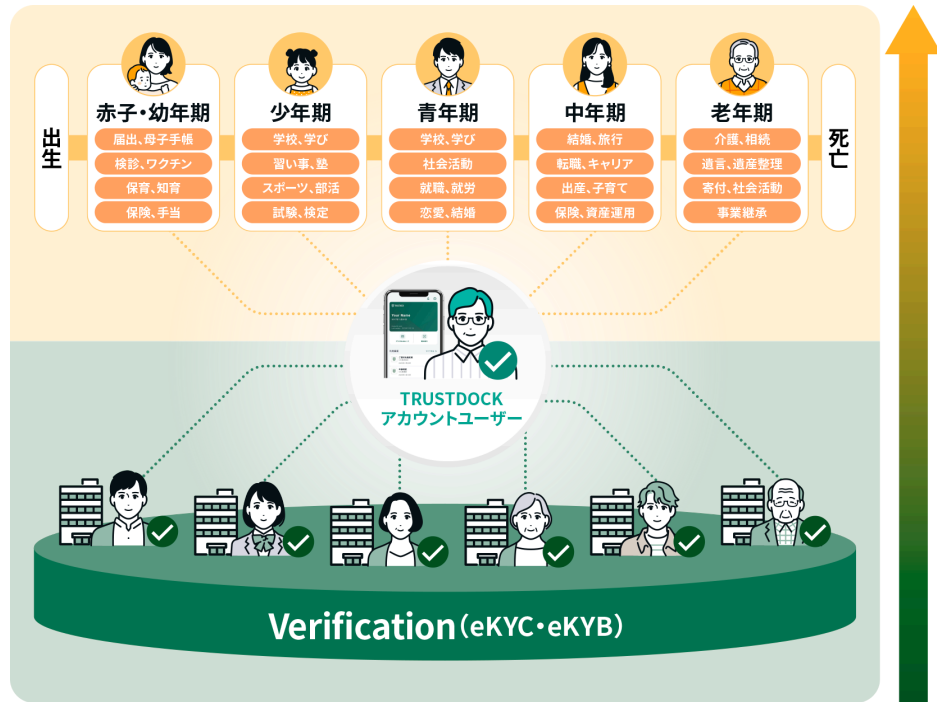
今後の展望

今年6月より、当社はTRUSTDOCKアプリと連携した転職サービス「Careefy」、ポイ活サービス「PointQuest」をスタートしました。デジタルIDウォレットの安全性・利便性を活かし、必要な情報を過不足なく連携させることが可能です。

このように、今後はウォレットの持ち主の属性情報を登録することで、同意管理しながら自身のデータ連携を制御する、デジタルIDウォレット機能を拡充していきます。

その先に、さまざまなサービスと連携して、じぶんにマッチした最適な情報を受け取れるコンシェルジュとして、人生に寄り添う存在として、より多くの人をサポートしていきます。

個人と企業をデジタルでつなぐゲートウェイとして、双方にとって、安心・安全で豊かなデジタル社会の構築を支援していきます。



企業概要

株式会社TRUSTDOCKは、「デジタル社会のインフラをつくる」というパーパスのもと、eKYC（オンライン本人確認）サービスをはじめ、急速なデジタル化によって起こる諸問題を解決するデジタルソリューションカンパニーです。

eKYCサービスでは、個人の身元確認のほか、法人確認やリスクチェックなどさまざまな確認業務をワンストップでご提供。累計導入社数300社を超える顧客確認インフラとして、24時間365日、安定運用しております。

さらに2025年6月より、デジタルIDウォレット「TRUSTDOCKアプリ」と連携した転職サービス「Careefy」、ポイ活サービス「PointQuest」をスタートしました。豊かなデジタル社会の実現のために、今後もさまざまなサービスを展開してまいります。

社名：株式会社TRUSTDOCK

所在地：東京都中央区京橋3-1-1 WeWork東京スクエアガーデン

代表取締役：千葉 孝浩

URL：<https://trustdock.co.jp/>

【TRUSTDOCKアプリ ダウンロードURL】

- [Google Play](#)
- [App Store](#)

【各サービスサイトURL】

TRUSTDOCKアプリ：<https://trustdock.app/>

eKYCサービス「TRUSTDOCK」：<https://biz.trustdock.io/>

転職サービス「Careefy」：<https://biz.careefy.jp/>

ポイ活サービス「PointQuest」：<https://pointquest.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社TRUSTDOCK

担当：広報 吉原（よしはら） pr-team@trustdock.io

画像DLは[こちら](#)